

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	社会福祉事業施設等貸付事業利子補給金	担当部局庁	社会・援護局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和40年度	担当課室	福祉基盤課	定塚 由美子				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅳ－9－1 福祉サービスを支える人材養成、利用者保護等の基盤整備を図る					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人福祉医療機構法第12条第1項1～3号及び5～6号	関係する計画、通知等	・独立行政法人福祉医療機構中期計画(H20. 2. 29) ・社会福祉事業施設等貸付事業利子補給金交付要綱					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国の政策に即して社会福祉事業者や医療事業者等が行う民間の社会福祉施設及び医療施設等の整備に対して、建築資金等を長期・固定・低利で資金を提供することにより、社会に欠かせない福祉・医療サービスを安定的・効率的に提供する基盤整備に資するものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会福祉施設や医療施設は、介護報酬、診療報酬等の公定価格に依存した低収益構造にあり、社会的に弱い居住者等を擁するため、施設の整備に対して建築資金等を固定金利で提供できるよう、金利変動により資金調達金利を上回る金利差が生じた場合の不足相当額、借入金利と貸付金利の差額補填等を予算措置により補給しているものである。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	9,764	9,298	5,600	5,512	5,512	
		補正予算	—	582	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	9,764	9,880	5,600	5,512	5,512	
	執行額		6,093	6,681	5,600			
	執行率(%)		62.40%	67.62%	100.00%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	利子補給金は、政策優先度に即して効果的かつ効率的な政策融資に対応するために措置されているものであり、当該年度の国の政策に基づいて変動することから、定量的な成果目標を示すことは困難である。		成果実績		—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	貸付契約額		活動実績 (当初見込み)	億円	1,576	1,846	3,061 (2,598)	— (3,338)
単位当たりコスト	平成22年度 184,879円(貸付金残高1億円あたり)		算出根拠	利子補給金(5,600百万円)／貸付金残高(30,290億円) × 単位(1億)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	社会福祉事業施設等貸付事業利子補給金	5,512	5,512					
	計	5,512	5,512					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・貸付金利について、福祉医療政策の変更、緊急措置等やむを得ない事情により国が認めたものを除き、現中期目標期間中の新規契約分について利差益が確保されるよう努め、利子補給金の見直しを図っている。 ・社会福祉事業施設等貸付事業利子補給金交付要綱に基づき、翌年度に提出される事業実績報告により確認している。 ・毎事業年度、事業実績・財務諸表の報告により実施状況を把握するとともに、厚生労働省独立行政法人評価委員会等による評価を実施している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	・本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
・引き続き効率的な執行に努める			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省
5,600百万円

貸付事業に要する資金の借入金利息と事業
者に貸付けた貸付金の利息収入との差額
補填等に要する費用を補助



【補助】

A.(独)福祉医療機構
5,600百万円

財政融資資金等の資金調達による利息支払等



【利息支払】

財政融資資金等

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	借入金利息・ 債券利息	福祉医療貸付事業における貸付財源 調達のために借り入れる財政融資資 金借入金等及び発行する財投機関債 に係る利息支払と貸付金利息収入と の損益差	5,261			
	貸倒引当金 繰入	福祉医療貸付事業における貸付金に 対する貸倒引当金への繰り入れに要 する費用	79			
	業務委託費	福祉医療貸付事業における代理店 (委託金融機関)への委託手数料	139			
	債券発行諸 費	福祉医療貸付事業における貸付財源 調達のために発行する財投機関債に 係る諸費用	121			
	計		5,600	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)福祉医療機構	民間の社会福祉施設及び医療施設等の整備に対して、建築資金等を長期・固定・低利で資金を提供	5,600	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					